



は る び

春毘

OKI

OKIサーキットテクノロジー株式会社

NPO法人
春日サッカーコミュニティ
通信 第60号
2023年1月1日発行

団員募集

春日サッカースポーツ少年団(幼児・小学生)見学・体験随時受付中 URL <http://www.kasuga-soccer.jp>

謹賀新年

愛すべき春日サッカーの皆様。新年明けましておめでとうございます。
今年も皆様にとって感動の多い1年でありますように祈っています。

この原稿を書いているのはワールドカップの Best4 が出そろった日であります。いいですね、サッカー。。日本も目標のエイトには届かなかったものの、明らかに次のステージに歩みを進めたなという印象です。JFA は2050年にもう一度日本でワールドカップを開催し、優勝する。という目標を掲げています。大人が目標を掲げるって、カッコいいと思います。私が印象に残ったシーンをいくつか。

① 日本のサッカーが海外の人に愛されたこと。

スペイン戦、日本のホームのようでしたね。海外の方も一緒に日本を応援してくれていました。ゴミ拾いも話題になりましたが、選手やスタッフの情熱が伝わってくるドラマチックなゲーム。スペイン戦の翌朝、日テレの番組で、自身もサッカーが大好きな加藤浩次さんが第1声「いや～、やっぱオレ、ニッポン好きだわ～」と言っていたセリフがとても良かった。

② レバンドフスキー

普段から所属のクラブで、得点を思う存分獲りまくっている選手です。はたから見ると、クールでもう個人的には得点いらないだろうとすら思える程のこの選手が、サウジアラビア戦でワールドカップ初ゴールを記録しました。相手の DF からスッとボールを奪い、ちょっと。結構地味なゴールでしたが、自身のワールドカップ初ゴールに感極まってその場で涙。「子どもの頃からの夢だった。」と。ワールドカップの与える夢の大きさを改めて感じました。

③ 日本に元気な波が起こったこと

必死に耐え、信じて走り、全力で勝負に挑む。日本人が好きな内容だったかもしれません。でもサッカーがそんな姿を世界中に見せることができ、にわかに大きな興奮を起こした日本代表。素直に感謝したいです。「サッカーには力があるな」と改めて思いました。ここに出場する選手が、いつか上越から出てほしい。思わずにはいられませんでした。



2022 ワールドカップ日本代表

代表の選手も 10 歳 15 歳の頃を経て今があります。言ってみれば私達は 10 年後 20 年後に興奮を引き起こす選手の、10 年前 20 年前の姿をした選手たちに触れている。

夢と責任を改めて感じたワールドカップでした。

2023年 今年もがんばる 米田 知弘

高円宮杯 U15 新潟県サッカー1部リーグ 2位 高円宮杯 U15 サッカー選手権北信越大会出場

新潟県1部リーグは8チームが4月から10月末までに2回の総当たり戦を行いました。上位3チームは県1部リーグ残留、更に上位2チームが「高円宮杯 U15 サッカー選手権北信越大会(兼北信越リーグ入替戦)」出場の権利を獲得します。上越春日フットボールクラブは新潟県1部リーグ2位で「高円宮杯 U15 サッカー選手権北信越大会」へ出場してきました。北信越大会は19チームによるトーナメントで行われます。北信越リーグ昇格をかけた2回戦で長岡 JY(北信越リーグ9位)に敗れ来年度の北信越リーグ昇格は果たせませんでした。3年生にとって最後のゲームを選手たちは堂々と全力で戦ってきました。



上越春日 FC 3年生 キャプテン 小池諒月

本格的なチーム作りは1週間の活動停止から始まった。米田監督に「一人一人の意志がないと誰のためにもならない」と言われた。そこで、自分はどうしたいのか、チームでどうするべきかを全員で話し合った。この経験があったからこそチームの団結力が高まり、リーグ戦でも全員で気持ちを盛り上げて、戦いぬくことができた。そしてむかえた北信越大会。一回戦を勝ち上がり、運命の相手は以前二度負けている長岡 JY。今日こそは勝つぞと挑んだ。一人一人の思いがこもった試合だった。悔しい結果とはなったが、みんなと本気でサッカーができて楽しかった。本当にありがとう。バモス!!

【高円宮杯 U15 新潟県1部リーグ】

1 巡目	2 巡目
8-0 EPOCH 横越	8-0 EPOCH 横越
3-0 小針中学校	5-1 小針中学校
3-0 ROUSE 新潟	1-2 エポルブ FC
4-0 ジェス新潟東	3-0 アルティスタ
4-0 アルティスタ	2-1 ジェス新潟東
5-0 エポルブ FC	3-1 ROUSE 新潟
0-1 アルビ長岡	1-2 アルビ長岡

【高円宮杯 U15 北信越大会】

11/3(会場:日東シンコースタジアム丸岡)	2-1 レインボー若狭(福井県リーグ1位)
11/5(会場:金沢市民サッカー場)	1-3 長岡 JY(北信越リーグ9位)

第46回全日本 U12 サッカー選手権新潟県大会 春日サッカースポーツ少年団 新潟県ベスト16

6年生チャレンジは、春日サッカースポーツ少年団と春日エックスの2チームに分かれて全日本 U12 サッカー選手権新潟県大会に出場しました。

春日サッカースポーツ少年団は、上越地区1位でシード権を獲得し、決勝トーナメント2回戦から出場。10月22日、刈羽ぴあパークで行われた決勝トーナメント3回戦で、bandai12 ジュニアと対戦し0-1で惜敗し、新潟県ベスト16となりました。春日エックスは10月1日、柿崎人工芝グラウンドで行われた予選リーグで敗退し、決勝トーナメント出場にはなりませんでした。



**春日 SSS 6年生チャレンジ
キャプテン 渡辺悠生**

ぼくたちは、10月16日から全日本 U12 サッカー選手権大会にいどみました。春日エックスや試合に出られない人の気持ちを背負って戦いました。ベスト16で0-1で負けてしまつてくやしい思いをしたし、キャプテンとして、まだできたことがあったので、後悔した気持ちもあります。県のチームはどこも強くて、上越のレベルの低さを実感しました。フットサルでは、キャプテンとしてチームのために全力で戦いリベンジし、みんなでいい景色を見れるようがんばりたいです。応援していただきありがとうございました。



**春日 X 6年生チャレンジ
キャプテン 長谷川莉玖**

僕たち春日エックスは県のトップになることを目標に練習してきました。県予選ではセレッソ桜ヶ丘に負け、予選を突破できませんでした。負けた時

はとても悔しかったし、自分の実力不足と県のトップチームへの遠さを実感しました。この経験をバネに課題を自分で見つける力を身につけ改善を続けます。そして東北電力杯でも県のトップを目指しチームみんなで戦います。コーチ、保護者の皆さん、チームのみんな、応援していただきありがとうございました。

【全日本 U12 サッカー選手権新潟県大会】

■春日 SSS 上越地区1位 ■春日 X 上越地区7位

決勝トーナメント2回戦出場	予選グループ 30 組
10/16(会場:グランセナ)	10/1(会場:柿崎人工芝 G)
1-0 浜浦コスモス 2002	4-1 FC desafiante
10/22(会場:刈羽ぴあパーク)	1-4 セレッソ桜ヶ丘
0-1 bandai12 ジュニア	